

H29 年度版 教科構想シート

社会科における主体的な学びとなる子どもの姿（1 学年⇒3 学年）		
授業の中で設定した課題に対して、原因や理由等を考え、主体的に調べようとしている	授業の中で社会的事象や疑問に思ったことに対して必要な資料を自ら活用して調べ、どのようにすればよいかを考え、解決しようとしている	
教科における主体的な学びのための教師の捉える場面（●）とその手立て（○）		
課題発見・解決学習	【課題の設定】 におけるポイント	●単元全体や各本時における目標につながる課題を見いだす場面 ○資料や社会的事象を通して、予想したことや考えの「ずれ」、「隔たり」を意識させ、主体的に課題を発見させる。
	【情報の収集】 におけるポイント	●課題解決に向けて、必要な情報を収集する場面 ○課題解決のために適切な資料を提示し、情報を収集させる。
	【整理・分析】 におけるポイント	●収集した情報（習得した知識・概念）を整理し、統合する場面 ○ノート（ワークシート）に考えを整理させる 比較・整理・分析⇒他者との考えを比較し、視点に応じて分類したり、原因等を追究したり、共通点や相違点を明確にする 関連付け⇒既習事項や学習内容とのつながりを関連付けさせる
	【まとめ・創造・表現】 におけるポイント	●習得した知識・概念を用いて課題解決する場面 ○説明や意思決定させるときに、根拠を明確にさせる。
	【実行】 におけるポイント	●学習したことを活用し新たな課題を発見する場面 ○学習内容を自己の課題として捉え、身近な地域や事象について置き換えて考えさせる
	【振り返り】 におけるポイント	●学習前、学習後の学びの変容を振り返る場面 ○ノート（ワークシート）に振り返りをさせる ⇒何がわかるようになったのか、またなぜそうなったのかを具体的に書かせる
	【協同学習】 におけるポイント	●4人グループ（小集団活動）により学びを深めさせたい場面 ○どの生徒もしっかり発言できるようにさせる。 ・分からない生徒には、個人思考の段階で机間指導による助言をする。 ・役割分担をきちんとさせる。

各教科における設定した資質・能力を育成するための手立て			頻度 ◎○△
資質・能力	資質・能力の定義	教科で育成するための手立て	
知識・技能	①学習したことを自ら語れる力 (知の構造化)	・めあてに対するまとめを自分の言葉で書かせる。	◎
思考力・ 判断力・ 表現力	①根拠をもとに、正しい判断をする力 (論理的思考力)	・数値などの具体的なデータをもとに根拠をもって説明させる。	◎
	②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 (批判的思考力)	・話し合いや討論等で、他の人の意見に対する質問や自分の意見を述べさせる。	◎
	③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力 (言語力)	・ティベートやプレゼン、話し合いなど、様々な言語活動を取り入れ、表現するための練習をさせる。	○
主体的に 学ぶ力	①自ら課題を見だし、解決しようとする力	・予習や調べ学習などの宿題をさせる。	◎
他者と かかわる力	①他者と協力(協働)し、課題を解決しようとする力	・グループ活動やペア活動を取り入れる。	○
	②他者とのかかわりを通して、自らの考えを深めたり広げたりしようとする力	・様々な意見が出るような発問をする。	◎
社会貢献力	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	・学習内容について、日本や身近な地域のことに置き換えて課題や解決策を考えさせる。	◎
自己形成力	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	・授業の振り返りで、わかるようになったことやこれからもっと調べてみたいことを書かせる。	◎
	②自信を持つ力	・生徒の発表に対して、「よく見つけたね」など認める反応をする。 ・生徒のつばやきを拾う。	◎